



厚生労働省北海道労働局発表
平成28年8月23日

【担当】

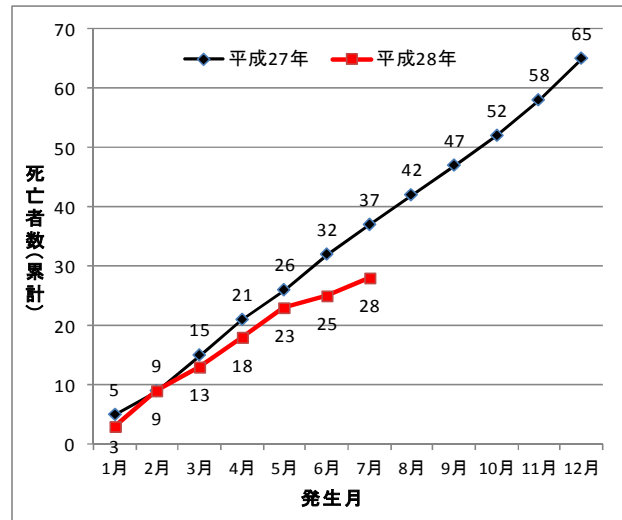
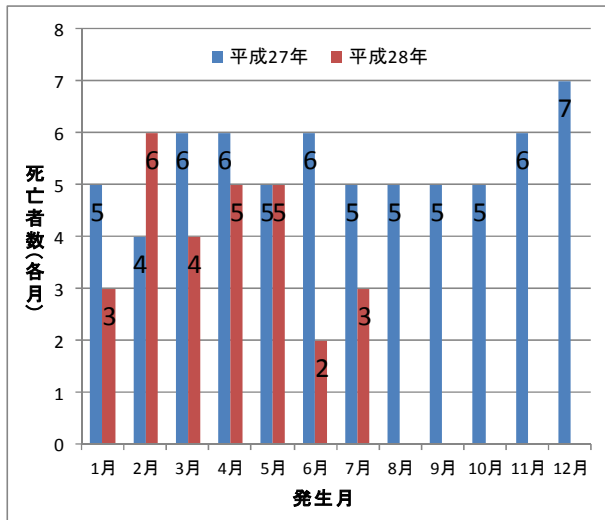
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比9人減少
死傷労働災害は前年同期比3.4%減少

－ 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年7月末現在速報値） －

1 労働災害による死亡者数（1月～7月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年7月末現在速報値で28人と、前年と比べ9人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が10人（全体の35.7%、前年同期比5人減）、「製造業」が5人（全体の17.9%、前年同期比3人増）、「陸上貨物運送事業」が3人（全体の10.7%、前年同期比同数）、「林業」が3人（全体の10.7%、前年同期比1人増）、「農業・畜産業」が3人（全体の10.7%、前年同期比3人増）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が6人（全体の21.4%）、「交通事故」が6人（全体の21.4%）、「激突され」が5人（全体の17.9%）、「はさまれ・巻き込まれ」が4人（全体の14.3%）、「崩壊・倒壊」が3人（全体の10.7%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～7月）

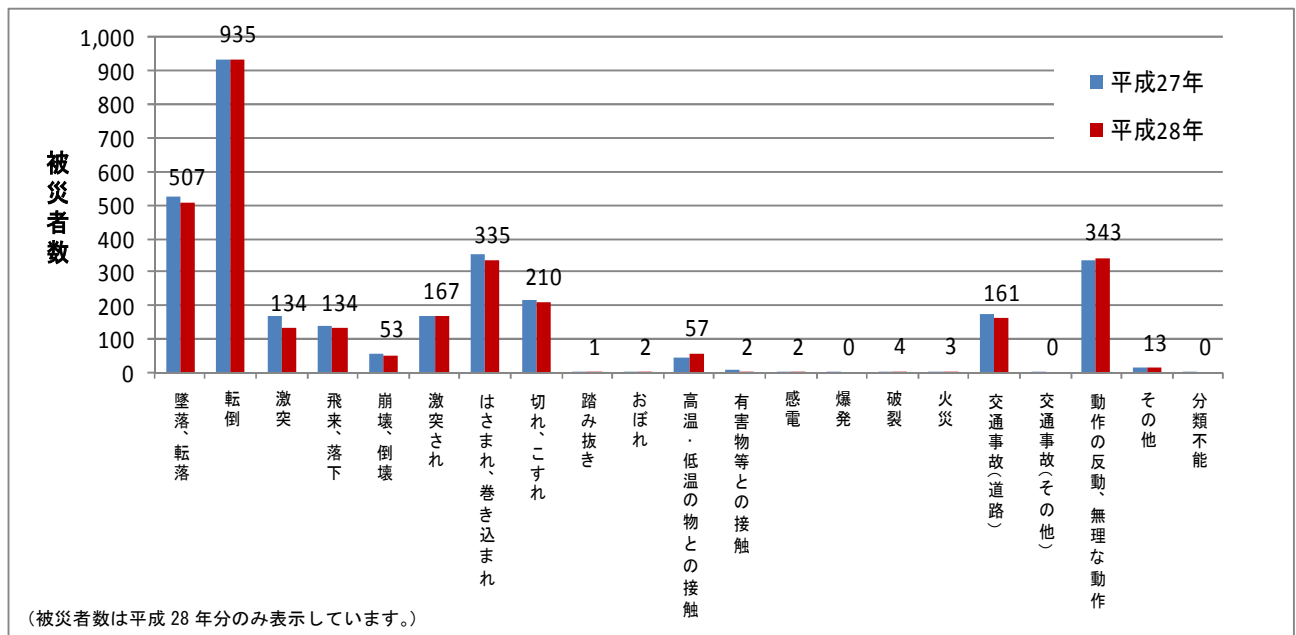
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年7月末現在で3,063人と、前年同期比108人減（3.4%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料4、5】

業種別に見ると、「製造業」が597人（全体の19.5%、前年同期比16人増）と最も多く、次いで「商業」が455人（全体の14.9%、前年同期比16人減）、「建設業」が386人（全体の12.6%、前年同期比78人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が364人（全体の11.9%、前年同期比29人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が935人（全体の30.5%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が507人（全体の16.6%）、「動作の反動、無理な動作」が343人（全体の11.2%）、「はさまれ、巻き込まれ」が335人（全体の10.9%）、「切れ、こすれ」が210人（全体の6.9%）、「交通事故（道路）」が161人（全体の5.3%）となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）北海道労働局では、「事故の型別」のうち3割を占めている転倒災害防止の取組として、「STOP！転倒災害プロジェクト」を展開しております。

また、9月16日に開催される「平成28年度 第37回北海道産業安全衛生大会」（主催：北海道労働基準協会連合会ほか関係災害防止団体、後援：北海道労働局ほか）について、各事業業における安全衛生管理水準と安全衛生意識の向上を図るため、多数の事業場の参加を呼び掛けています。

（2）8月に熱中症による死亡労働災害が発生しています。

先月に引き続き、リーフレットの配布などにより職場における熱中症防止対策を推進しています。

【添付資料】

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況
- 5 署別・業種別災害発生状況
- 6 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

- 1 平成28年度 第37回北海道産業安全衛生大会
- 2 職場の熱中症予防対策は万全ですか？